

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 高齢者肺炎における血液培養の有効性と抗菌薬選択の検討

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の背景・目的] 高齢者肺炎は通常の市中肺炎と異なり、その併存疾患や背景因子などに大きく予後が左右されます。特に最近では医療・介護関連肺炎(NHCAP)という概念も報告されており、これは主に高齢で全身状態が低下した方や、悪性腫瘍などの治療や透析などのために病院通院を頻回にするかたの肺炎のことであり、多くの場合は嚥下機能低下が原因となって起こる肺炎とされております。一般の肺炎においては、起因菌を評価する血液培養は米国のガイドラインでは optional の位置づけとなっており、全例推奨とは言われておりません。しかし NHCAP においては確固たる必要性の議論はされておられません。血液培養は陽性率も低く、患者さんや検査者への負担の割に治療への有効性が低いとすればその必要性は再考の余地があると考えられます。また NHCAP ではもともと免疫力の低下から、抗菌薬選択よりも背景因子の方が予後への影響が大きいと考えられており抗菌薬の選択がどの程度治療に影響するかに関してもはっきりとしたデータが少ないです。そのため、本研究は当院の NHCAP 患者さんにおいて、診断における血液培養の有効性の評価と、抗菌薬選択の治療効果への関連を評価することを目的としております

■研究の対象となる方

2015年1月から2018年12月に公立陶生病院を受診された方のうち、65歳以上で肺炎の診断を受けて血液培養を取られ治療を導入された方。

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101
研究代表者 感染症内科 武藤 義和